

# 被災盛土の早期・強化復旧技術

[R-ROK工法]

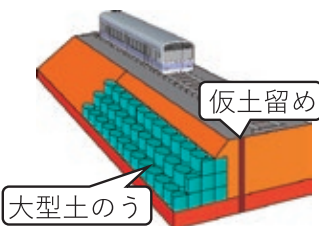
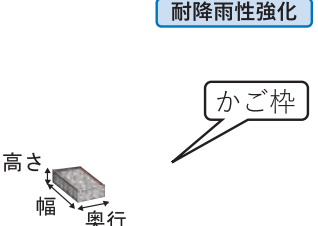
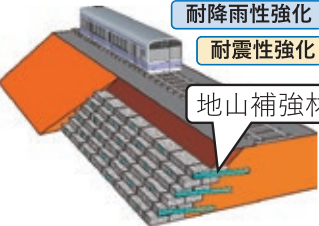
構造物技術研究部

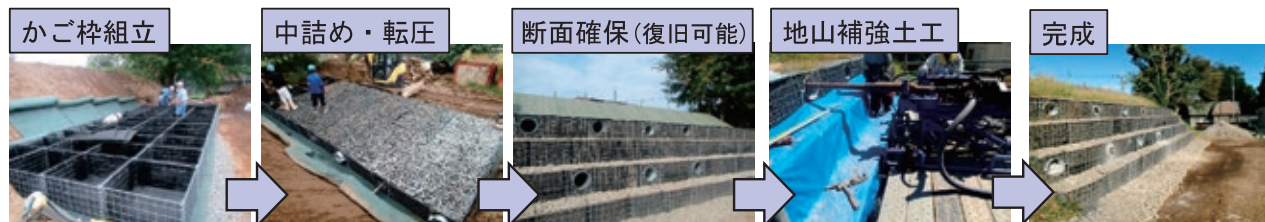
## 災害時における盛土の早期・強化復旧を支援します

盛土の復旧時には、列車の運行再開を早期に行うために、大型土のう等により応急復旧工を施工する場合があります。この場合、本復旧時に大型土のう等を撤去する必要があり、施工期間の長期化や工事費の増大の要因となります。そこで、応急復旧工を必要としない、かご枠を使用した盛土の早期・強化復旧工法を開発しました。

### 【特徴】

- 恒久構造に利用可能なかご枠により盛土の断面を修復することで、総工事費を削減することができます。
- 早期復旧法は、早期に本復旧工事を完了することができ、かご枠による耐降雨性の強化が可能です。
- 強化復旧法は、早期復旧法に地山補強材を追加施工することで、耐震性の強化が可能です。

| 復旧工法  | 従来復旧工法<br>(大型土のう)   | かご枠を用いた提案復旧法   |   |
|-------|---|--|---|
|       |   | 早期復旧法  | 強化復旧法   |
| 概要    |  |  |  |
| 復旧概要  | 大型土のう：250袋<br>仮土留め：III型×50枚   | かご枠：<br>幅 奥行 高さ<br>1.0m×1.0m×0.5m<br>×320m   | かご枠：<br>1.0m×1.0m×0.5m<br>×320m<br>地山補強材：<br>直径 長さ<br>133mm×7.0m×15本                  |
| 工期    | 列車の運行再開   | 9.7日 (0.78)  | 12.5日 (1.00)  |
|       | 工事完了  | 17.6日 (1.41)   | 12.5日 (1.00)  |
| 総工事費率 | 1.00  | 0.40   | 0.71  |



提案技術の施工手順と工期・工事費の比較